

## 米国建設機械動向

2019年11月

### 1. 主要建設機械の需給動向

#### (1) 販売動向

米国主要建設機械 2019年9月の販売台数は、全機種合計で前年同月比 23.3%減 (3,865 台減) の 12,710 台となり、3ヶ月連続でマイナスとなった。機種別では、全機種で前年同月比がマイナスとなった。

#### (2) 生産動向

2019年9月の米国における建設機械の生産台数は、油圧ショベルを除く全機種が前年同月比で減少した。全機種・全社合計では、前年同月比で 14.0%減の 38,810 台となった。

#### (3) 主要建設機械の輸出入動向

##### ○輸出動向

2019年9月の建設機械輸出は、台数で前年同月比 30.8%減(1,843 台減)の 4,136 台、金額では 20.9%減(8,324 万ドル減)の 3億 1,495 万ドルとなった。このうち、中古機輸出は、台数で 6.2%減の 820 台、金額では 2.3%減の 3,031 万ドルである。新車のみ輸出は、台数で 35.0%減、金額では 22.5%の減少となった。機種別では、全機種が前年同月比で減少した。

無限軌道式ブルドーザーは、最大輸出先であるカナダへの輸出が前年同月の 300 台 (うち、中古機 28 台) から 136 台 (うち、中古機 58 台) へ前年同月比で 54.7%減少したのをはじめ、オーストラリアへの輸出が同 20 台 (うち、中古機 18 台) から 10 台 (全て中古機) へ 50.0%減少し、イギリスへの輸出が同 8 台 (うち、中古機 7 台) から 3 台 (全て中古機) へ 62.5%減少した。一方、ベルギーへの輸出が前年同月の 3 台 (全て中古機) から 11 台 (全て中古機) へ 266.7%増加し、ベトナムへの輸出が同 8 台 (全て中古機) から 11 台 (全て中古機) へ 37.5%増加、ナイジェリア、ドイツへの輸出も増加した。全体としては前年同月比で 39.2%の減少となった。

その他のもの・タイヤドーザーは、カナダへの輸出が前年同月の 12 台 (うち、中古機 11 台) から 10 台 (うち、中古機 7 台) へ前年同月比で 16.7%減少したほか、パキスタンへの輸出が同 5 台 (うち、中古機 4 台) から 1 台 (中古機) へ 80.0%減、オランダへの輸出が同 15 台 (全て中古機) から実績無しとなり、ペルー、クウェートへの輸出も減少した。他方、前年同月に実績の無かったバハマへの輸出が 6 台 (全て中古機) へと増加し、カンボジアへの輸出が前年同月の 1 台 (中古機) から 3 台 (全て中古機) へと増加、ホンジュラス、コロンビアへの輸出も増加した。全体としては前年同月比で 26.2%の減少となった。

グレーダー等平地ならし機は、カナダへの輸出が前年同月の 54 台から 35 台へ前年同月比で 35.2%減少したほか、タイへの輸出が同 10 台から 1 台へ 90.0%減少し、ケニアへの輸出が同 6 台から 1 台へ 83.3%減、インドネシア、エクアドルへの輸出も減少した。他方、前年同月に実績の無かった南アフリカへの輸出が 8 台へと増加し、前年同月に実績の無かったイラク、ナイジェリアへの輸出が 4 台へと増加、エジプト、サウジアラビアへの輸出も増加した。全体としては前年同月比で 27.5%の減少となった。

スクレーパーは、オーストラリアへの輸出が前年同月の 3 台 (全て新車) から実績無しとなり、カナダへの輸出が同 2 台 (うち、中古機 1 台) から実績無し、パナマへの輸出が同 1 台 (新車) から実績無しとなった。他方、メキシコへの輸出が前年同月の 2 台 (全て中古機) から 4 台 (全て中古機) へ 100.0%増加し、前年同月に実績の無かったカンボジアへの輸出が 1 台 (中古機) へと増加した。全体としては前年同月比で 37.5%減少となった。

タイヤ・振動ロードローラーは、ドイツへの輸出が前年同月の 19 台 (全て新車) から 5 台 (全て中古機) へ前年同月比で 73.7%減少したほか、ベルギーへの輸出が同 12 台 (全て中古機) から実績無しとなり、コロンビアへの輸出が同 12 台 (うち、中古機 1 台) から実績無しとなった。他方、ブラジルへの輸出が前年同月の 4 台 (全て新車) から 21 台 (全て新車) へと大幅に増加し、オーストラリアへの輸出が同 23 台 (全て新車) から 27 台 (全て新車) へ 17.4%増、ガイアナ、ジャマイカへの輸出も増加した。全体としては前年同月比で 13.9%の減少となった。

ホイール・ローダーは、最大輸出先であるカナダへの輸出が前年同月の 1,626 台 (うち、中古機 44 台) から 1,170 台 (うち、中古機 39 台) へ前年同月比で 28.0%減少したほか、ベルギーへの輸出が同 231 台 (全て

新車) から 73 台 (うち、中古機 3 台) へ 68.4%減少し、オーストラリアへの輸出が同 282 台 (うち、中古機 7 台) から 154 台 (うち、中古機 4 台) へ 45.4%減、チェコ、中国への輸出も減少した。他方、ペルーへの輸出が前年同月の 30 台 (うち、中古機 5 台) から 61 台 (うち、中古機 9 台) へ 103.3%増加し、ドイツへの輸出が同 32 台 (全て新車) から 58 台 (うち、中古機 1 台) へ 81.3%増、ブラジルへの輸出が同 3 台 (全て新車) から 43 台 (全て新車) へと大幅に増加、エジプト、イギリスへの輸出も増加した。全体としては前年同月比で 28.8%の減少となった。

油圧・機械式ショベル (上部構造が 360 度回転するもの) は、最大輸出先であるカナダへの輸出が前年同月の 568 台 (うち、中古機 44 台) から 294 台 (うち、中古機 21 台) へ前年同月比で 48.2%減少したほか、メキシコへの輸出が 116 台 (うち、中古機 70 台) から 44 台 (うち、中古機 25 台) へ 62.1%減少し、イギリスへの輸出が同 51 台 (全て新車) から 9 台 (うち、中古機 1 台) へ 82.4%減、ベルギー、オーストラリアへの輸出も減少した。他方、ペルーへの輸出が前年同月の 1 台 (中古機) から 12 台 (全て新車) へと増加したほか、ナイジェリアへの輸出が同 2 台 (全て中古機) から 7 台 (うち、中古機 6 台) へ前年同月比で 250.0%増加し、前年同月に実績の無かったイスラエルへの輸出が 5 台 (うち、中古機 1 台) へと増加した。全体としては前年同月比で 46.2%の減少となった。

油圧・機械式ショベル (その他のもの) は、最大輸出先であったカナダへの輸出が前年同月の 386 台 (うち、中古機 57 台) から 184 台 (うち、中古機 19 台) へ 52.3%減少したほか、マレーシアへの輸出が同 29 台 (うち、中古機 18 台) から 13 台 (全て中古機) へ 55.2%減少し、チリへの輸出が同 16 台 (うち、中古機 5 台) から 5 台 (うち、中古機 2 台) へ 68.8%減少した。他方、前年同月に実績の無かったスペインへの輸出が 37 台 (全て新車) へと大幅に増加し、オランダへの輸出が同 15 台 (全て新車) から 39 台 (全て新車) へ前年同月比で 160.0%増、カンボジアへの輸出が 9 台 (全て中古機) から 23 台 (うち、中古機 19 台) へ 155.6%増加した。全体としては前年同月比で 20.1%の減少となった。

#### 米国における建設機械輸出動向 (9月)

(単位: 台、百万ドル)

	2019.09		2018.09		増減(%)	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額
無限軌道式ブルドーザー	240	23.284	395	51.508	▲ 39.2	▲ 54.8
(うち中古機)	146	8.099	107	6.460	36.4	25.4
その他のもの・タイヤドーザー	45	7.624	61	4.760	▲ 26.2	60.1
(うち中古機)	38	1.746	53	1.918	▲ 28.3	▲ 8.9
グレーダー等地面らし機	116	23.205	160	31.086	▲ 27.5	▲ 25.4
スクレーパー	5	0.306	8	1.792	▲ 37.5	▲ 82.9
(うち中古機)	5	0.306	3	0.128	66.7	139.0
タイヤ・振動ロードローラー	155	5.112	180	5.274	▲ 13.9	▲ 3.1
(うち中古機)	49	1.246	54	1.477	▲ 9.3	▲ 15.7
ホイール・ローダー	2,366	134.953	3,323	169.887	▲ 28.8	▲ 20.6
(うち中古機)	189	7.081	157	6.204	20.4	14.1
油圧・機械式シャベル (360 度回転)	560	95.568	1,040	96.525	▲ 46.2	▲ 1.0
(うち中古機)	97	4.120	171	6.324	▲ 43.3	▲ 34.9
油圧・機械式シャベル (その他)	649	24.894	812	37.352	▲ 20.1	▲ 33.4
(うち中古機)	296	7.715	329	8.520	▲ 10.0	▲ 9.5
全合計	4,136	314.946	5,979	398.185	▲ 30.8	▲ 20.9
(うち中古機合計)	820	30.314	874	31.030	▲ 6.2	▲ 2.3

(出所) U.S. Dept. of Commerce, Bureau of Census

## 9月の国別輸出動向

(単位：百万ドル)

(単位：台)

(単位：百万ドル)					(単位：台)				
	金額	2019.09	2018.09	増減		台数	2019.09	2018.09	増減
1	Canada	157.236	234.688	▲ 33.0	1	Canada	1,868	2,988	▲ 37.5
2	Peru	25.728	2.255	1,040.9	2	Mexico	391	512	▲ 23.6
3	Australia	16.816	19.926	▲ 15.6	3	Australia	243	416	▲ 41.6
4	Mexico	12.533	17.919	▲ 30.1	4	Belgium	104	297	▲ 65.0
5	Colombia	8.472	10.107	▲ 16.2	5	Germany	95	81	17.3
6	Germany	7.928	6.669	18.9	6	Italy	94	85	10.6
7	Italy	5.910	4.983	18.6	7	Peru	90	46	95.7
8	Japan	5.444	3.563	52.8	8	United Kingdom	74	104	▲ 28.8
9	Chile	4.921	9.684	▲ 49.2	9	Brazil	64	7	814.3
10	Belgium	4.362	12.476	▲ 65.0	10	Colombia	57	76	▲ 25.0
	Others	65.596	75.914	▲ 13.6		Others	1,056	1,367	▲ 22.8
	Total	314.946	398.185	▲ 20.9		Total	4,136	5,979	▲ 30.8

(出所) U.S. Dept. of Commerce, Bureau of Census

### ○輸入動向

2019年9月の建設機械輸入は、台数で前年同月比19.9%増の13,936台、金額では15.7%増の5億9,544万ドルとなった。このうち、中古機の輸入は、台数で4.4%減の281台、金額では10.4%減の1,427万ドルである。新車だけの輸入は、台数で20.5%増、金額で16.5%の増加となった。機種別では、無限軌道式ブルドーザー、スクレーパーを除く全機種が前年同月比で増加した。

無限軌道式ブルドーザーでは、タイからの輸入が前年同月の738台（全て新車）から実績無しとなり、ブラジルからの輸入が同100台（うち、中古機1台）から39台（全て新車）へ前年同月比で61.0%減、中国、韓国からの輸入も減少した。他方、日本からの輸入が前年同月の53台（うち、中古機3台）から132台（うち、中古機3台）へ149.1%増加し、前年同月に実績の無かったオランダ、ドイツからの輸入が1台（中古機）へと増加した。全体としては前年同月比で81.0%の減少となった。

その他のもの・タイヤドーザーは、オーストリアからの輸入が前年同月の12台（全て新車）から16台（全て新車）へ前年同月比で33.3%増加したため、フランスからの輸入が同2台（全て中古機）から実績無しとなったが、全体としては前年同月比で13.3%の減少となった。

グレーダー等平地ならし機は、輸入の大半を占めるブラジルからの輸入が前年同月の77台から145台へ前年同月比で88.3%増加したほか、ニュージーランドからの輸入が同4台から7台へ75.0%増、前年同月に実績の無かったドイツからの輸入が6台へと増加、イタリア、中国からの輸入も増加した。他方、日本からの輸入が前年同月の8台から7台へ12.5%減少し、カナダからの輸入が同2台から1台へ50.0%減少した。全体としては前年同月比で84.8%の増加となった。

スクレーパーは、カナダからの輸入が前年同月の1台（中古機）から1台（中古機）へ横ばいとなった。

タイヤ・振動ロードローラーは、中国からの輸入が前年同月の201台（全て新車）から1,699台（うち、中古機5台）へと大幅に増加したほか、前年同月に実績の無かったベトナムからの輸入が454台（全て新車）へと大幅に増加、オランダからの輸入が同1台（中古機）から78台（全て新車）へと増加し、スウェーデン、イギリスからの輸入も増加した。他方、ドイツからの輸入が前年同月の1,385台（うち、中古機8台）から647台（うち、中古機7台）へ前年同月比で53.3%減少し、日本からの輸入が1,338台（うち、中古機5台）から991台（うち、中古機1台）へ25.9%減、フィリピンからの輸入が同306台（全て新車）から実績無しとなった。全体としては前年同月比で20.1%の増加となった。

ホイール・ローダーは、日本からの輸入が前年同月の1,027台（うち、中古機14台）から1,704台（うち、中古機13台）へ前年同月比で65.9%増加したほか、韓国からの輸入が同1,019台（うち、中古機1台）から1,177台（うち、中古機1台）へ15.9%増、イギリスからの輸入が同120台（うち、中古機10台）から254台（うち、中古機9台）へ111.7%増加し、チェコ、オーストリアからの輸入も増加した。一方、ブラジルか

らの輸入が前年同月の 111 台（うち、中古機 28 台）から 77 台（うち、中古機 6 台）へ 30.6%減少し、イタリアからの輸入が同 64 台（うち、中古機 1 台）から 29 台（うち、中古機 2 台）へ 54.7%減、スウェーデンからの輸入が同 21 台（全て新車）から 7 台（うち、中古機 1 台）へ 66.7%減少し、オーストラリア、中国からの輸入も減少した。全体としては前年同月比で 33.8%の増加となった。

油圧・機械式ショベル（上部構造が 360 度旋回するもの）は、輸入の大半を占める日本からの輸入が前年同月の 2,679 台（うち、中古機 81 台）から 3,506 台（うち、中古機 91 台）へ前年同月比で 30.9%増加したほか、中国からの輸入が同 124 台（うち、中古機 2 台）から 512 台（うち、中古機 2 台）へ 312.9%増加し、イギリスからの輸入が同 53 台（うち、中古機 9 台）から 146 台（うち、中古機 35 台）へ 175.5%増、ドイツ、タイからの輸入も増加した。他方、韓国からの輸入が前年同月の 330 台（うち、中古機 2 台）から 268 台（うち、中古機 5 台）へ前年同月比で 18.8%減少し、チェコからの輸入が同 229 台（全て新車）から 201 台（全て新車）へ 12.2%減、オーストラリアからの輸入が同 40 台（全て新車）から実績無しとなり、フランス、オランダからの輸入も減少した。全体としては前年同月比で 30.4%の増加となった。

油圧・機械式ショベル（その他のもの）は、最大輸入元であるイギリスからの輸入が前年同月の 376 台（うち、中古機 2 台）から 396 台（うち、中古機 7 台）へ前年同月比で 5.3%増加したほか、韓国からの輸入が同 18 台（うち、中古機 1 台）から 152 台（全て新車）へと大幅に増加、オランダからの輸入が同 16 台（うち、中古機 2 台）から 39 台（うち、中古機 3 台）へ 143.8%増、ドイツ、ブラジルからの輸入も増加した。他方、カナダからの輸入が前年同月の 25 台（全て新車）から 7 台（全て新車）へ 72.0%減少し、イタリアからの輸入が 21 台（全て新車）から 20 台（全て新車）へ 4.8%減、ベトナムからの輸入が同 10 台（全て中古機）から実績無しとなった。全体としては前年同月比で 34.4%の増加となった。

#### 米国における建設機械輸入動向（9月）

（単位：台、百万ドル）

	2019.09		2018.09		増減(%)	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額
無限軌道式ブルドーザー	176	33.615	926	31.410	▲ 81.0	7.0
（うち中古機）	5	0.831	8	0.542	▲ 37.5	53.4
その他のもの・タイヤドーザー	17	3.333	15	1.951	13.3	70.8
（うち中古機）	1	0.003	3	0.069	▲ 66.7	▲ 96.3
グレーダー等地面らし機	170	33.669	92	18.592	84.8	81.1
スクレーパー	1	0.006	1	0.088	0.0	▲ 93.5
（うち中古機）	1	0.006	1	0.088	0.0	▲ 93.5
タイヤ・振動ロードローラー	4,096	24.502	3,411	25.679	20.1	▲ 4.6
（うち中古機）	23	0.716	21	0.821	9.5	▲ 12.8
ホイール・ローダー	3,802	156.920	2,842	124.996	33.8	25.5
（うち中古機）	78	3.151	94	3.438	▲ 17.0	▲ 8.4
油圧・機械式シャベル（360度旋回）	4,994	313.470	3,829	284.723	30.4	10.1
（うち中古機）	155	8.712	146	9.703	6.2	▲ 10.2
油圧・機械式シャベル（その他）	680	29.931	506	27.300	34.4	9.6
（うち中古機）	18	0.849	21	1.263	▲ 14.3	▲ 32.8
全合計	13,936	595.444	11,622	514.739	19.9	15.7
（うち中古機合計）	281	14.267	294	15.925	▲ 4.4	▲ 10.4

（出所） U.S. Dept. of Commerce, Bureau of Census

## 9月の国別輸入動向

(単位：百万ドル)

(単位：台)

	金額	2019.09	2018.09	増減
1	Japan	327.226	247.008	32.5
2	Brazil	56.962	55.979	1.8
3	United Kingdom	52.673	32.487	62.1
4	Korea, South	41.093	48.782	▲ 15.8
5	China	32.480	39.892	▲ 18.6
6	Germany	30.650	25.752	19.0
7	Austria	15.712	10.277	52.9
8	Belgium	6.839	10.874	▲ 37.1
9	Czech Republic	6.527	6.943	▲ 6.0
10	Italy	6.339	10.083	▲ 37.1
	Others	18.943	26.662	▲ 29.0
	Total	595.444	514.739	15.7

	台数	2019.09	2018.09	増減
1	Japan	6,342	5,108	24.2
2	China	2,349	480	389.4
3	Korea, South	1,597	1,378	15.9
4	Germany	924	1,593	▲ 42.0
5	United Kingdom	832	553	50.5
6	Vietnam	454	10	4,440.0
7	Czech Republic	379	386	▲ 1.8
8	Brazil	320	332	▲ 3.6
9	Austria	174	155	12.3
10	Italy	159	213	▲ 25.4
	Others	406	1,414	▲ 71.3
	Total	13,936	11,622	19.9

(出所) U.S. Dept. of Commerce, Bureau of Census

### 2. 業界動向等

#### (1) 2019年9月の建設費支出

米国商務省統計局発表の2019年9月の建設支出総額は、季節調整済み年率換算で1兆2,936億ドルで、8月の1兆2,871億ドルから0.5%増加となった。前年同月比では2.0%の減少である。

2019年9月の民間建設支出額は、季節調整済み年率換算で9,617億ドルで、前月の9,599億ドルから0.6%増加した。このうち、住宅に対する支出は同5,114億ドルで、前月の5,084億ドルから0.6%増加した。

2019年9月の公共建設支出額は、季節調整済み年率換算で3,319億ドルとなり、前月の3,272億ドルから1.5%増加した。このうち、教育建設支出額は同789億ドルで、前月の765億ドルから3.1%増加した。また、高速道路建設支出額は同980億ドルで、前月の955億ドルから2.6%増加した。

(単位：10億ドル)

建設タイプ	2019年 9月(p)	2019年 8月(r)	2019年 7月(r)	2019年 6月	2019年 5月	2018年 9月
建設全体	1,293.6	1,287.1	1,291.3	1,285.3	1,297.5	1,319.7
民間建設(*1)	961.7	959.9	962.7	959.2	962.7	1,008.1
住宅	511.4	508.4	504.6	499.6	503.6	530.5
宿泊	32.4	32.8	32.9	34.4	33.2	31.7
オフィス	69.0	68.8	68.6	68.1	68.4	68.3
商用	77.4	78.0	79.8	81.2	79.3	96.8
医療	34.5	34.2	35.3	34.8	34.9	33.0
教育	18.3	18.1	18.6	18.0	18.8	21.2
宗教	2.7	2.7	2.9	2.7	2.8	3.0
娯楽	13.4	13.8	13.6	14.3	14.5	16.0
交通	16.5	16.4	16.4	17.2	17.2	16.8
通信	23.4	23.6	23.3	23.2	23.3	23.9
電力	88.9	90.2	91.6	93.4	95.4	90.6
製造	72.3	71.4	73.3	70.5	70.0	75.1
公共建設(*2)	331.9	327.2	328.6	326.1	334.8	311.5
住宅	6.6	6.6	6.1	6.2	6.1	6.3
オフィス	10.8	10.8	10.6	10.4	10.1	9.4
商用	4.5	4.4	4.9	4.2	4.2	3.8
医療	9.1	9.1	8.9	8.9	9.1	9.5
教育	78.9	76.5	76.8	73.8	78.9	79.0
公安	10.1	10.2	10.1	10.0	9.8	9.3
娯楽	13.7	14.4	14.0	14.1	13.6	12.8
交通	39.1	39.3	39.4	39.8	39.2	35.8
電力	6.6	6.6	6.4	5.3	6.0	5.3
高速道路・道路	98.0	95.5	97.1	100.4	105.2	92.1
下水・廃棄物処理	26.7	26.6	26.6	26.4	26.5	22.5
上水道	17.6	16.6	16.9	16.2	15.8	14.7
保護地域・開発	9.1	9.4	9.5	9.0	8.6	9.0

出典：The Census Bureau of the Department of Commerce

Note: (p) : Preliminary、(r) : Revised

(\*1) 民間建設における、公安、高速道路・道路、下水・廃棄物処理、上水道、保護地域・開発に関する建設費を含むが、項目立てされていない。

(\*2) 公共建設における、宿泊、宗教、通信、製造に関する建設費を含むが、項目立てされていない。

## (2) 2019年10月の住宅着工件数

2019年10月の新規住宅着工件数は、9月の126万6千戸（調整済み）から3.8%増の131万4千戸（季節調整済み年率換算）となった。前年同月比では8.5%の増加である。一戸建住宅は、93万6千戸で、前月比で2.0%増、前年同月比では8.2%増となった。また、集合住宅は、36万2千戸で、前月比6.8%増、前年同月比では10.7%増となった。地域別に見ると、北東部が前月比で21.9%減少となり、中西部が同8.7%増、最も着工件数が多い南部が0.7%増、西部は17.6%増加した。一方、2019年10月の住宅許可件数は、前月比5.0%増の146万1千戸（季節調整済み年率換算）となり、前年同月比では14.1%増加した。

以上